

北諸県農業改良普及センター
(北諸県農林振興局)

JA都城いちご専門部会におけるSWOT分析を活用した産地改革への取組について

1 活動のねらい

北諸県管内におけるJA都城いちご専門部会（以下、「部会」）は、平成27年産で栽培戸数30戸、栽培面積4.8haで、施設経営の基幹品目の一つとして位置づけられています。

しかし、部会員の平均年齢は63歳となり高齢化が進み、平成21年に40戸いた部会員は現在30戸となっています。

後継者が少なく農家戸数の減少が更に進む見込みで、個別農家の課題解決はもちろんですが、産地としての課題解決も図っていく必要があります。そこで、今後、産地を維持・発展させるためにはどのような取組みが必要かを整理するため、部会、JA、関係機関等とSWOT分析を活用した検討を行いました。

2 活動の経過

- (1) なりゆき予測、産地に関するアンケート調査（平成26年度）

部会の農家戸数、栽培面積、販売金額等の現状及び5～10年後についての分析（なりゆき予測）を行い、生産者、JA及び市町との情報共有及び現状の認識を行い、危機意識の共有を図りました。（図1）

その後、生産者や産地の抱える問題点や現状を把握するため、部会員へアンケートを行いました。その結果、「後継者不足」「収益不足」などの現状を把握することができました。



図1 なりゆき予測

- (2) SWOT分析（平成27年度）

産地の課題解決について、部会、JAと協議を行うため、生産者・関係機関による産地改革プロジェクトチーム（以下、「産地改革PT」）を設立し、SWOT分析（注）を活用した新たな活動の検討を行いました。（表1）

（注）SWOT分析とは

部会組織などの外部環境（市場、他産地の現状、自然環境など）や内部環境（栽培状況、作業内容、部会組織など）を深く分析し直すことで、今後の戦略策定を行う手法の一つ。

所 属		人数
生産者	部会青年部	※
JA都城	園芸指導員	2名
	販売担当	1名
都城市	農産園芸課	1名
三股町	産業振興課	1名
宮崎県	営農支援課	専門技術指導担当 2名
	北諸県農林振興局	農畜産課 1名
	北諸県農業改良普及センター	普及企画課 2名 農業経営課 1名
合 計		10名 + α

※希望者のみ会議出席

表1 都城いちご専門部会産地改革プロジェクトチーム

◎ SWOT分析の具体的内容（図2）

- ①STEP1 内部環境・外部環境の検討・考察
- ②STEP2 クロス分析の実施
- ③STEP3 活動の優先順位の決定
- ④STEP4 活動の役割分担の決定

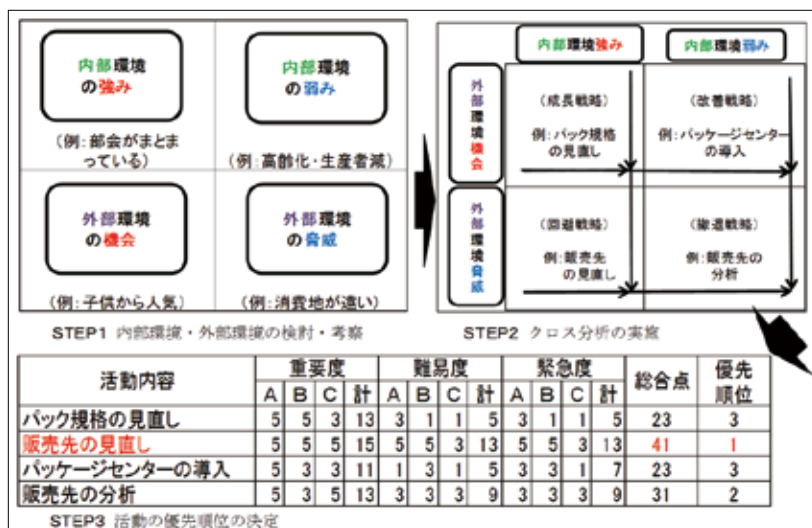


図2 SWOT分析の具体的内容（イメージ）



検討会議の様子

部会生産者に対し、産地改革PTの設立、SWOT分析の内容を部会生産者が出席する研修会で説明し、取組の承諾を得ました。

産地改革PT検討会議をこれまでに2回行い、担い手、生産、販売面での課題整理を行い、新たな活動の提案まで行いました。

新たな活動案は、担い手受け入れ体制の整備、篤農家栽培マニュアルの作成、販売PR方法の再検討などです。

(3) 対策の優先順位の決定

全部会員に対し検討会議で出された活動案の優先順位を決定するためのアンケート調査を行い、その結果を部会支部長会にて説明し了承を得ました。

3 活動の成果

これまでの取組の結果、産地の課題解決に向けての具体的な活動案が出されるとともに、生産者・関係機関の産地課題に対する問題意識の向上、生産者と関係機関との情報及び目標の共有を行うことができました。

4 今後の方向

今回の会議を更に発展させ、生産者と関係機関が一体となって産地改革に向けた戦略を作成し、目標を共有しながら今後の活動に取り組んでいきたいと思っております。

5 対象集団又は対象農家の声

検討会議に出席した生産者からは、「活動検討の場があってありがたい」、「関係機関と話し合うことができてよかった」などの前向きな意見が出されました。